

6 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録	
日 時	令和 8 年 6 月 1 6 日（火） 午後 3 時 0 0 分～午後 3 時 1 5 分
場 所	本庁舎 9 階 会議室 9－2
出 席 委 員	松田教育長・末木職務代理者・上原委員・川口委員・岩下委員
出席事務局職員	里吉教育部長・近藤教育総室長（総務課長兼任）・西村生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・大森学校教育課長・中村学事課長・穂山教育施設課長・花輪甲府商業高等学校事務長・浅川甲府商科専門学校事務長・樋田生涯学習課長・武田スポーツ課長・上條国スポ総体課長・海瀬図書館長・菱山総務課課長補佐・内田総務課係長・舟久保総務課主任
傍 聴 人	なし
署 名 委 員	
委 員 会 書 記	
・教育委員あいさつ	
・会議録署名委員の氏名 岩下委員	
・5 月 定 例 会 ・ 臨 時 会 会 議 録 の 承 認 原 案 の と お り 承 認	
松田 川口 岩下 末木 上原	
1 開 会 松田教育長 これより 6 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会 い た し ま す 。 （1） 教 育 委 員 あ い さ つ 岩下委員 皆様こんにちは。 初夏の爽やかな風が吹く季節となりました。今週、金曜日 1 9 日には、総合教育視察が予定されていますが、今から大変楽しみにしております。学校現場に向向いて校長先生のお話をうかがい、授業を参観して学校の活気を体感することは、極めて重要なことだと考えております。限られた時間内ではありますが、子どもたちの状況、学校運営、職員体制などを直接お聞きし、学校現場に寄り添いながら現在の甲府の教育の実情を深く把握する、有意義な機会にしたいと大きな期待を持っております。 さて、昨日のサッカーワールドカップでは、世界の強豪と対等に渡り合えるようになった日本代表の戦いぶりに深く感動いたしました。森保監督をはじめ、対戦相手や海外メディアからも、日本代表の強みとして「組織力」「一体感」「粘り強さ」が高く評価されています。とりわ	

け、最後まで勝利を諦めない粘り強さは、未来を担う子どもたちに、目指すべき指標となるすばらしい姿を示してくれたと思います。

世界を舞台に発揮されたこの「組織力」や「粘り強さ」は、スポーツの世界に限ったことではありません。日本の教育現場においても、世界に誇る高い成果を支える組織力が根づいています。

国際的な学力調査であるPISAやTIMSSにおいて、日本の児童生徒の学力は常に世界のトップクラスを維持しています。その質の高さを底上げしている基盤となるものは、全国の学校で組織的、継続的に行われている「校内研究」であると思います。

海外では教員の研修といえば、外部の専門機関で講義を受ける受け身のものが主流です。これに対し、日本の校内研究は学校全体がひとつの研究チームとなり、日常の授業を起点として組織的に指導力を高め合います。この他国に類を見ない日本独自のシステムは、海外では「Lesson Study」と呼ばれ、50か国以上の学校で公式な研修制度として採用されています。

校内研究が、日本の教育水準を維持・向上させる上で果たす役割について、改めて考えてみました。主に次の3つの優れた点があると思います。

第一に、指導技術の組織的伝承です。若手からベテランまで全教員が参加し、事前に指導案を検討した上で、1人の授業を全員で参観します。これにより、ベテランや中堅が持つ発問や板書といった「職人技」が、組織的な関わりを通じて若手へ受け継がれる仕組みが確立されています。文化や治安の違いから、海外では教員同士が授業を見せ合うことはめったになく、保護者向けの授業参観さえ行われない国も多くあります。

第二に、丁寧な教材研究の文化です。日本の教員は共通の教科書をベースに、「なぜこの問が必要か」「子どもがどこで躓くか」を細かく分析します。算数の一問に対しても、何通りもの思考プロセスをシミュレーションして、授業の質を高めます。この深い探究が、全国どこでも均質で高い水準の教育を担保していることができます。

第三に、「子どもの変容」に基づく評価の観点です。海外の授業観察は教員のパフォーマンス評価になりがちですが、日本の授業後の研究会は「あの場面でA君の学びがどう変わったか」など、子どもの具体的な反応を検証します。教員の自己満足ではなく、子どもの変容という本質に焦点を当てるため、確実な学力向上へとつながっていきます。

時代の変化に伴い、現在は教員の働き方改革やICT活用などによる校内研究のスマート化・効率化といった再構築も進んでいます。しかし、教員が同僚と共に「授業の質」と「子どもの変容」に向き合い続けるこの協働の文化こそが、今後も日本の教育レベルを世界トップ水準に維持し続けるための核心であり、守るべき最大の強みだと考えます。

教育委員会として、学校現場の校内研究をこれからも全力で支えていく重要性を、改めて強く感じています。

ご清聴ありがとうございました。

（２）会議録署名委員の指名

松田教育長

本日の会議録署名委員は、岩下委員にお願いいたします。

(3) 前回会議録の承認

松田教育長

5月12日の定例教育委員会、27日の臨時教育委員会の会議録について、何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案どおり承認】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

松田教育長

第17号 夏季期間における甲府市立図書館の開館時間変更について
資料に基づきまして、海瀬図書館長から、説明をお願いします。

(海瀬図書館長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。
ご意見、ご質問はありますでしょうか。

岩下委員

質問を1つさせていただきます。

子どもたちのために図書館の開館時間を早めていただきありがとうございます。

朝の時間を有効活用して、涼しく安全な図書館の環境を提供するということは、子どもたちの読書や学習習慣の定着に寄与するものだと思います。

この取組は、子どもたちの主体的な学びを育むだけでなく、保護者の安心感や、地域社会の信頼にも繋がる有意義な取組だと思います。

つきましては、この繰り上げ開館時間における昨年度までの利用者数について、把握されている範囲で結構ですので、お聞かせいただきたいと思います。

海瀬図書館長

昨年度の実績となりますが、9時30分から10時までの30分繰り上げを行った期間が、33日間あり、その期間内における延べ人数は、2,252人となっております。

岩下委員

本当に多くの利用があったということでこれまでのご尽力に感謝申し上げます。

今年度におきましても引き続き多くの利用者があることを期待しています。

また一方で、この取組の推進にあたっては、図書館職員の業務負担増に対する配慮ですとか、適切な人員配置など、持続可能な運営体制を、ぜひよろしくお願いします。

松田教育長

大勢の方が利用していただいているようですので、またぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

その他いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、原案のとおり決定いたしました。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

3 その他

松田教育長

その他になりますが、何かございますか。

4 閉会

松田教育長

以上をもちまして、6月定例教育委員会を閉会します。